

- | | | |
|----|---|---|
| 1 | 弥生時代に北部九州を中心に多く出土している、中国から輸入された鏡を何という？ | <input type="text"/> <input type="text"/> |
| | ☐ ① 三角縁神獣鏡 ☐ ② 銅鐸 ☐ ③ 漢鏡 ☐ ④ 小形仿製鏡 | |
| 2 | 弥生時代に大陸から伝わり、銅剣や銅矛などの作成に用いられた技術のことを何という？ | <input type="text"/> <input type="text"/> |
| | ☐ ① 金属器 ☐ ② 石器 ☐ ③ 土器 ☐ ④ 木器 | |
| 3 | 「漢委奴国王」と刻まれた金印が発見された、福岡県にある場所はどこ？ | <input type="text"/> <input type="text"/> |
| | ☐ ① 対馬 ☐ ② 壱岐 ☐ ③ 種子島 ☐ ④ 志賀島 | |
| 4 | 銅鐸が主な役割として使われた、豊作を祈るなどの行事を何という？ | <input type="text"/> <input type="text"/> |
| | ☐ ① 狩り ☐ ② 祭り ☐ ③ 戦い ☐ ④ 交易 | |
| 5 | 邪馬台国の卑弥呼が魏の皇帝から贈り物を受けた様子など、当時の日本の様子が詳しく記されている中国の歴史書を何という？ | <input type="text"/> <input type="text"/> |
| | ☐ ① 日本書紀 ☐ ② 風土記 ☐ ③ 魏志倭人伝 ☐ ④ 古事記 | |
| 6 | 弥生時代に導入された金属器のうち、硬度が高く、刃先などの実用的な道具として生産力の向上に貢献したものを何という？ | <input type="text"/> <input type="text"/> |
| | ☐ ① 木器 ☐ ② 青銅器 ☐ ③ 石器 ☐ ④ 鉄器 | |
| 7 | 弥生時代に作られた銅剣や銅矛などの青銅器は、主に何という儀式的の道具として発展した？ | <input type="text"/> <input type="text"/> |
| | ☐ ① 祭祀 ☐ ② 狩猟 ☐ ③ 交易 ☐ ④ 農耕 | |
| 8 | 銅剣や銅矛が多く出土しており、銅鐸の主な出土地帯とは異なる特徴を持つ地域はどこ？ | <input type="text"/> <input type="text"/> |
| | ☐ ① 近畿地方 ☐ ② 九州地方 ☐ ③ 東北地方 ☐ ④ 中国地方 | |
| 9 | 縄文土器と比べて薄く作られ、煮炊きに適していたのはどのような温度で焼かれたから？ | <input type="text"/> <input type="text"/> |
| | ☐ ① 乾燥 ☐ ② 多湿 ☐ ③ 低湿 ☐ ④ 高温 | |
| 10 | 弥生時代に大陸から金属器とともに伝わり、それまでの採集中心の生活から定住型の社会へ変化させる大きな要因となった技術を何という？ | <input type="text"/> <input type="text"/> |
| | ☐ ① 漁労 ☐ ② 採集 ☐ ③ 稲作 ☐ ④ 狩猟 | |
| 11 | 弥生時代に大陸から伝わり、実用品ではなく主に祭祀の道具として使われた青銅器のうち、釣鐘のような形をしたものを何という？ | <input type="text"/> <input type="text"/> |
| | ☐ ① 銅鐸 ☐ ② 銅矛 ☐ ③ 銅剣 ☐ ④ 鏡 | |
| 12 | 3世紀頃、邪馬台国を治め、中国の魏に使者を送ったとされる女王は誰？ | <input type="text"/> <input type="text"/> |
| | ☐ ① 推古天皇 ☐ ② 卑弥呼 ☐ ③ 神武天皇 ☐ ④ 聖徳太子 | |
| 13 | 1世紀、後漢の時代に倭の奴国の王が使節を送った際に、その権威を認めて印を授けた皇帝を何という？ | <input type="text"/> <input type="text"/> |
| | ☐ ① 光武帝 ☐ ② 玄宗 ☐ ③ 始皇帝 ☐ ④ 武帝 | |
| 14 | 福岡県の志賀島で発見された金印を授けた、弥生時代の中国の王朝を何という？ | <input type="text"/> <input type="text"/> |
| | ☐ ① 前漢 ☐ ② 西晋 ☐ ③ 後漢 ☐ ④ 魏 | |
| 15 | 弥生時代に大陸から伝わった金属器のうち、農具や武器として実用的に使われたものを何という？ | <input type="text"/> <input type="text"/> |
| | ☐ ① 土器 ☐ ② 石器 ☐ ③ 青銅器 ☐ ④ 鉄器 | |



① 隠す

赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

② 言う

解説を読んで、用語を口に出す

③ 印を付ける

言えたら□にチェック

問	解説	▼ここで折る	答え	言えた
1	<u>漢鏡</u> は、中国の漢王朝で鑄造された銅鏡で、高い鑄造技術による精巧な文様が特徴です。		3 <u>漢鏡</u>	☐
2	<u>金属器</u> には主に銅製品（青銅器）と鉄製品がありました。		1 <u>金属器</u>	☐
3	後漢の光武帝から授けられたとされる「漢委奴国王」の金印は、江戸時代、福岡県の <u>志賀島</u> で農作業中に偶然発見されたと伝えられています。		4 <u>志賀島</u>	☐
4	銅鐸は、このような <u>祭り</u> の場で、神聖な音を出したり、掲げられたりすることで、人々を統率し豊作を祈るために使われました。		2 <u>祭り</u>	☐
5	魏の歴史をまとめた『魏志』のうち、東夷伝という章に倭人に関する記述があり、一般に『 <u>魏志倭人伝</u> 』と呼ばれます。		3 <u>魏志倭人伝</u>	☐
6	<u>鉄器</u> は主に農具の刃先や、武器としての剣や矛などに加工されました。		4 <u>鉄器</u>	☐
7	青銅器である銅剣や銅矛は、鋭い刃を持ちながらも実用には適さない繊細なものが多く、主に <u>祭祀</u> の場で神聖な道具として使われました。		1 <u>祭祀</u>	☐
8	青銅器の中でも、銅剣・銅矛は九州北部を中心とする西日本に、銅鐸は近畿地方を中心に多く出土し、文化圏がはっきり分かれていました。		2 <u>九州地方</u>	☐
9	<u>高温</u> で焼くことで強度が上がり、煮炊きに適した薄い土器を大量に作ることができました。		4 <u>高温</u>	☐
10	<u>稲作</u> が定着したことで、人々は安定した食料を得られるようになり、収穫の時期に合わせて同じ場所に住み続ける定住生活が始まりました。		3 <u>稲作</u>	☐
11	<u>銅鐸</u> は主に近畿地方を中心に多く出土しており、祭祀の道具として用いられました。		1 <u>銅鐸</u>	☐
12	<u>卑弥呼</u> は「鬼道」と呼ばれる呪術を用いて人々を統治した女王です。		2 <u>卑弥呼</u>	☐
13	『後漢書』東夷伝によれば、57年に倭の奴国の使者が後漢の <u>光武帝</u> に謁見し、朝貢しました。		1 <u>光武帝</u>	☐
14	志賀島で発見された「漢委奴国王」と刻まれた金印は、1世紀頃、 <u>後漢</u> の光武帝が日本の使者に授けたものと考えられています。		3 <u>後漢</u>	☐
15	鉄は青銅よりも硬く丈夫であるため、刃先として農具（鋤・鍬）や武器（剣・矛・鏃）などに加工されました。		4 <u>鉄器</u>	☐

言えなかった用語ノート